

ざ・神港労連

火曜日

2025 年 10 月 7 日

発行元 神戸港湾組合連合会教育宣伝部



第 68 回神港労連定期大会

神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて開催!!

2024 年度活動を総括し、2025 年度運動方針を確立に向け
団結!!

2025 年 10 月 7 日に神戸メリケンパークオリエンタルホテルにて、第 68 回神港労連定期大会を開催した。大会構成として役員 20 名・代議員 57 名・特別執行委員の出席は古澤 隼実様(日港労連書記次長) 高島 弘司様(全国港湾書記次長)であった。また御来賓では、日本港湾労働組合連合会より中央執行委員長 德里 則之様 全日本港湾運輸労働組合同盟・兵庫地本本部より梶山 祐史様(執行委員長) 全日検労働組合神戸より稲田 年弘様 神戸港湾労働組合協議会より西澤 昭徳様に御臨席を賜り、全体で 80 名のご出席の中議事運営を行った。

吉岡執行委員長から、定期大会開催にあたって御挨拶を申し上げられた。
「厳しい現場環境の中、命懸けで作業に従事し本年も記録的な猛暑が続く中、安全作業で乗り越えられたことに対し、組合員の皆様に敬意を表するとともに、御礼を申し上げます。
神戸港の情勢について、ポートアイランド地区にて、PC13からPC17の一体利用が発表され、拡張後のKICTは西日本



最大のコンテナターミナルとなりますが、再編・集約に伴う雇用不安など起きないように注視していかなければなりません。

また、RTGの遠隔操作、自動化をはじめとした様々な港湾政策に翻弄され続けている中、専業労働組合の運動の根幹は、現場で働く組合員の雇用と職域を守り、安心して働ける労働環境の確保と安全な職場を構築する事が一番であります。

そして、労働組合の大きな役割が、組合員の生活向上への取り組みである中、昨今のエネルギー価格の高騰により、様々な生活物資の値上げが続ぎ、我々の生活を圧迫させている。今年の春闘に於いては、料金検証を行い各社しっかりと収受し、価格転嫁に基づいて大幅賃上げを確保しました。

神戸港の取り扱いに関しては、コンテナ貨物の取り扱いには微量な増減を繰り返し、在来船の取り扱いについては、前年度と比較して減少傾向に歯止めが掛からない状況にあります。

昨今、船社や荷主の利便性がかりが先行されますが、我々、労働組合はこれまで諸先輩方が命をかけて守ってきた神戸港の港湾秩序と常用港湾労働者の港を維持継続すること、更に発展させ労働者が働きやすい安心・安全な港であり続ける為に努力していく所存であります。その為には、更なる団結力の強化と組合運動への御理解と御協力を皆様にとお願いいたします。

神戸港湾労働組合連合会

執行委員長 吉岡 幸治

また本大会の議事進行に至り、議長団の大役を担って頂いたのは、

日本港運労働組合

河野代議員(右側)

三友企業労働組合

五郎丸代議員(左側)

の両名にて、円滑な進行の基、議事運営に務められた。大変、ご苦勞様でした。



神戸港湾労働組合連合会第68回定期大会の御盛会、誠にありがとうございます。神港労連には、日頃より中核組織として、ご理解とご協力の基で労働運動を進め、ご尽力いただいている事に対し、心より感謝申し上げます。

我々の運動として、賃上げを含めた適正作業料金の収受や安全な労働環境を確保する取り組みを進め、労使協定の履行の徹底など、現場に根差した取り組みを強化していくところとします。このような運動を展開していくには、地域を超えた連帯と共闘が不可欠であり、神港労連の仲間と連帯を強め、港湾の将来展望が見いだせる未来を切り開いていく決意であります。

本定期大会が混迷した時代の課題に立ち向かう場として、力強い団結を図る場となることを、心より願っております。

今後の神戸港湾連合会に結集する皆様のご活躍とご健勝を祈念いたしまして日港労連を代表致しましてご挨拶とさせていただきます。

日本港湾労働組合連合会

中央執行委員長 徳里 則之



議事次第に沿って、24年度活動経過報告・24年度会計監査報告・25年度運動方針(案)・25年度会計予算案について報告を行い、代議員の確認を以って承認されました。

代議員からの質疑

「年末年始について」

年末年始の取り扱いに関して、昨年は年末年始不稼働という形になりましたが、今年に至っては、全国港湾で協議中ではあると思いますが、神港労連としての考え方を聞かせください。

甲陽運輸労働組合 徳田代議員



執行部より答弁!!

年末年始について、経過を踏まえて報告させて頂きます。5月30日に年末年始の折衝が行われていますが、その時点では大きく前進した回答はなく、10月9日に労使政策委員会が開催される中で、業側の回答如何では今年の年末年始に於いても不稼働になる認識であります。

神港労連の考え方としては、昨年を全休にした意味また労働力の安売りをせず、現行の精励金からの拡充は当然である考えから、前進ある回答を中央執行委員会にて上申していく考えであります。

「統一・改善交渉について」

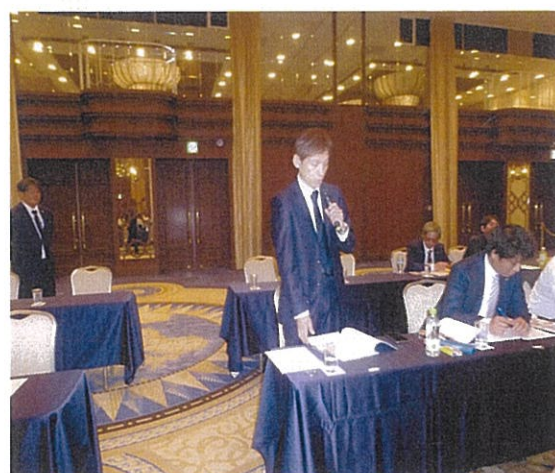
統一交渉では毎年「賃上げ」が主軸になるのは当然として、それ以外の制度面についても、現場では強い関心があります。

特に徹夜明けのカット率、残業割増、定年延長時の通減率、各種手当の算定基礎などは、各社比較しても統一されていないのが実情です。

水準の違いがある中で、全体一律で何%の改善を求める形で、最低ラインの底上げと制度全体の前進の両方を実現する交渉の方法はとれないのでしょうか? そうなれば、現状が低いところはもちろん、比較的水準が高い会社も同じくして上がっていくこととなり、全体としての統一感や納得感も生まれると思っています。

賃上げとは違う観点で、制度面の統一・改善交渉を進めて頂きたいと感じています。

(サンソー港運労働組合 片山代議員)



執行部より答弁!!

2025年4月1日に62歳から65歳定年延長に実施されました。各社、今まで60歳以降の取り扱いが雇用延長・OB・パートなど賃金を減額してきた経過があります。

65歳定年延長を履行する中で、通減無しで履行できている店社は無く、原資の確保など会社側も手探りの状況であり、労使交渉を行う中で納得できる形のサポートは神港労連としては行っています。

この事は、神港労連としても継続的に労働環境改善に向け取り組んでいく考えであります。

また、統一交渉の改善点については、機関会議で現状を把握した上で取り組みを定め、労使交渉・専門委員会の設置を以って考えていきたいと思います。

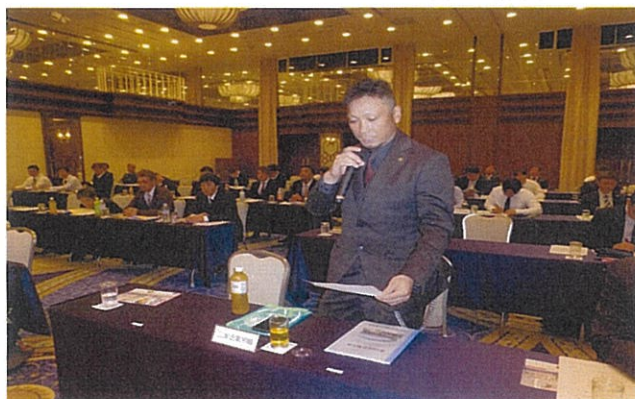
「自然災害について」

2025年7月30日にカムチャツカ半島沖での地震時の対応について、全国で津波注意・警報が発令される中、津波が到達する最前線である私達への指示・対応が遅れている、届いていない状況があった。

幸い注意レベルであり、元請け指示で動ける程であったが、各現場での対応があまりにもバラバラであった為、今回の事を神港労連はどう捉えているのか?

今後の備え・対応をどの様にお考えなのか? お聞かせください。

(三友企業労働組合 速水代議員)



執行部より答弁!!

津波対応に関してですが、神戸港に於いては注意報が発令された中、神港労連の事務局と兵庫県港運協会と情報を共有し、安全な対応を伝えた経過があります。

9月29日に開催した地区労使協議会の場では、今回の事を踏まえて神戸港でのガイドラインを設ける事を要請しています。また、秋闘に於ける行政との交渉にて神戸市港湾局・阪神国際港湾(株)に対し、同様の事を要請していく所存であります。

「土日祝の割増について」

土日祝の割増について、今年度改善に向けて御尽力いただいていたと思いますが、年間を通じて前進ある形が見えなかったと感じております。

近年、働くことへの考え方が変わってきている中、約20年前の平成18年に締結した内容から、現在の働き方に即した内容へ改善することが港湾の魅力に繋がると思っています。

以上の事から、改善に向け取り組んで頂いていると思いますが、更なる迅速な対応をお願いして私からの発言とさせていただきます。

(上津港運株式会社 東代議員)



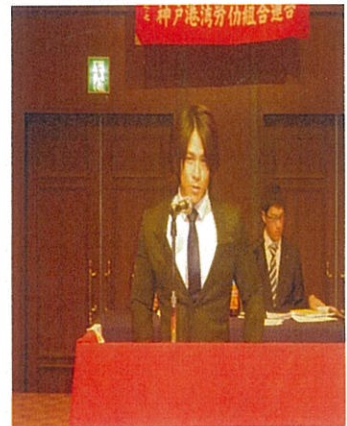
執行部より答弁!!

土日祝の割増について、賃金専門委員会を開催し取り組んでいる状況ではありますが、今日に至るまでに改善した形を実現することができませんでした。前回、改定した時から働くことへの価値観が変わってきていることを重々理解した上で、魅力ある港湾労働に繋げる為にも、何とか前進させる様定期大会後も取り組んでいく所存であります。

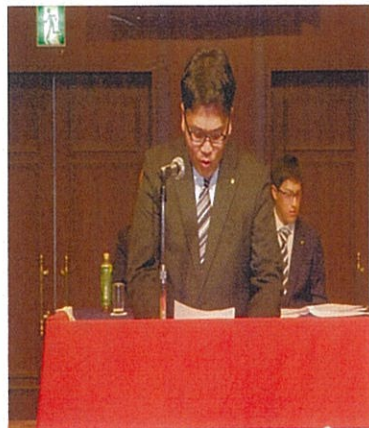
4名の方の質疑を受け、吉岡委員長と大石書記長が答弁をなされた。

神港労連として、次年度の課題として受け止め、各組長執行委員長と機関会議で以て協議を行っていき前進させるよう取り組むとした。

特別執行委員である日港労連 古澤書記長と全国港湾 高島書記次長にも諸課題に対しご教授をして頂いた。



大会スローガンの提案
(甲陽運輸労働組合 岩切代議員)



大会宣言(案)の提案
(中央港運労働組合 長野代議員)

大会スローガン・大会宣言(案)の提案を両名、円滑に読み上げられ承認とされました。

以上、全ての議事を無事終了し、25年度新役員の体制を以って運営していくと確認し、第68回神港労連定期大会を閉会しました。

二〇二五年度 神港労連役員名簿

執行委員長 吉岡 幸治

副執行委員長 松田 行生
芦田 邦秀

書記長 大石 浩二
書記次長 菊屋 優彰

会計 宮西 孝治(新任)

執行委員

神崎 修治
大西 輝彦
吉田 峰令
森岡亮太郎
米野 彰真
山崎 雄太(新任)
杉村 喜久
居月 優和(新任)

会計監査

岡崎 正良
櫻井 恭介(新任)

特別執行委員

竹内 一
高島 弘司
古澤 隼実

特別相談役

西川 憲一郎

〓 退任役員略歴 〓

鈴木 貴春 氏
(ニッケルエンドライオンズ労働組合)



2022年 神戸港湾労働組合連合会第65回定期大会にて執行委員に就任

川戸 努 氏

(神戸福利厚生協会労働組合)



2009年 港湾労働組合連合会第52回定期大会にて執行委員に就任